

第17回

限られた予算の中で、印象を高めるお歳暮を



Profile プロフィール

株式会社高島屋 日本橋店
ギフトサロン担当 副セールスマネージャー

辻山 正敏

ギフトアドバイザー2級 ギフトサロンの経験は9年。中元・歳暮はもとより、仏事、慶事まで日々多様なお客様と対話しながらコンサルティング販売を行っています。

定番から最新まで。2015年のお歳暮トレンドは？

お歳暮といえば、おせち料理向けの佃煮やハム、鍋ギフトなど、年末年始にお使いいただける商品が定番です。今年は、トレンドワードでもある「熟成肉」を使った加工食品も多く見られます。企業様向けでは、昨年あたりからプレミアムビールが人気。女性が多い企業様なら、洋菓子もお喜びいただけます。宝石のようにカラフルなコーティングを施したエクレアなど、今年ブレイクしたスイーツを選んでいただくのもおすすめです。

大切なお客様との「絆を深める」お歳暮のマナー

ビジネスシーンでは年末年始休暇があるため、12月25日以降のお届けはマナー違反。反対に、早い時期に届いたお歳暮は印象に残りやすく、より喜んでいただけます。昨今は11月下旬からお届け可能なので、大切な方々へのお歳暮は早めを心がけたいところです。

お歳暮をいただいたら、お礼の言葉を伝えるのも大切なマナー。電話やメールでも失礼ではありませんが、より丁寧で好印象を与えられるのは手紙です。相手先様の事情によっては、「忌み言葉」が使われていると心証を損ねてしまうこともあるので、言葉選びには十分配慮しましょう。

値段よりも「心が伝わる」贈り物を

お歳暮の予算を縮小する場合は、去年と全く違う商品を選ぶのがコツ。また、各種サービスを活用してコストを削減することも可能です。高島屋では、関東10店舗では送料無料ギフトを約1,200点ご用意、関西7店舗では早割サービスを実施しております。

かつては、多数の相手に同じ商品を贈る儀礼的なお歳暮が企業の主流でしたが、昨今は、「本当に大切なお客様に品物を厳選して贈る」という企業様が増えてきました。価格で選ぶより、心の伝わるギフトを選ぶことが、より重視されていくのではないのでしょうか。

贈り物に迷ったら、ギフトアドバイザーにご相談ください。ご来店が難しい方は、高島屋オンラインストアでも、贈る相手やご予算にあわせて多彩なギフトをお選びいただけます。

■ギフトアドバイザーへのご相談は、各店舗の代表電話よりギフトサロンへお問い合わせください。

■高島屋オンラインストア <http://www.takashimaya.co.jp/shopping/gift/>